

今年も残すところあと僅かです。今年は文化事業でもコロナ禍からの力強い回復がみられた一年でした。各種事業にご参加いただきありがとうございました。今号では市民お月見会の入選作品の紹介や特選受賞者のコメント紹介をはじめ、年明け以降の行事紹介を中心にお届けします。

第50回豊橋市民お月見会 受賞作品紹介

11月25日(土)に「第50回豊橋市民お月見会」の表彰式が行われました。今年は川柳112句、俳句146句、短歌93首の中から「特選」「秀逸」「佳作」の作品がそれぞれ選ばれました。特選の方々のコメントとともにご紹介いたします。

●特選作品紹介

【川柳の部】

子の顔を忘れた母と月を待つ
竹尾眞弓

どのような想いで詠まれましたか?

末期の卵巣がんと診断された母は、長期の病院生活で次第に認知症の症状が出てきました。はじめは私の名を呼び「私のお金を取りにくる人がいるから」と財布を渡されたりしましたが、終に、私の名も顔もわからなくなってしまいました。わからないながらも「ありがとう」の言葉だけはかけてくれる母を窓ぎわに寄せてわらべ歌を口ずさみながら、月が上がってくるのを待っていました。残り少ない母と過せる時間を思うというまでもこの時をいっしょに過ごしたいという思いで月の出を待っていました。

川柳を始められたきっかけを教えてください。

孫2人が小学校に入り、孫育てが一段落した20年ほど前、新聞紙上で時事川柳を読んで共感の思いを強くしていた頃、友人に誘われ曾田紉葉先生を講師とする川柳豊川会に入会し、月1回の定例会に出席するようになりました。ふだんの暮らしの中で見つけたこと感動したこと、社会の矛盾への怒りなどをふだんの言葉で五七五の17音字に表現することに心をひかれました。

＊

【俳句の部】

月眺む母となる夢あきらめて
寺部幸子

どのような想いで詠まれましたか?

この句は約30年前、「あなた方ご夫婦には子どもを授かることはできません」と医師から告げられた時のことを思い出して作りました。悲しい、悔しいと素直に口に出すことが憚られ、私は何とも思っていない、子どもに恵まれない夫婦は10組に1組、それがたまたま私だけ……とただただ月を眺め自分に言い聞かせていたような気がします。

還暦に近い今も、優しい夫、可愛い猫たち、やりがいのある仕事やボランティア活動に恵まれて幸せな暮らしをしているもの、なかなか「吾唯足知」(われただたるを

しる) 心持ちにはなれず、もし子どもがいたら…と妄想する時がありますが、こうして句に昇華することにより少しづつ身軽になれる気がします。

俳句を始められたきっかけを教えてください。

昨年に引き続き特選を受賞させていただき本当にありがとうございました。昨年の受賞を機に「景象句会」に入会させていただき、星野昌彦先生のもとで俳句の勉強を始めました。毎月一回ブラットで開かれる句会で先生の楽しい講義を拝聴し先輩方の秀句を味わわせていただいています。今後も細く長く先輩方のように90代になっても俳句を楽しむ人でいたいと思っています。

＊

【短歌の部】

十全の満月ひかりの輪をつなげ
会えぬ夫への架け橋にする
原田敬子

どのような想いで詠まれましたか?

毎年夫と二人で眺めた中秋の名月。今年ひとりでの観月となりました。病に倒れ、面会もままならぬ夫に想いを馳せて見る月はひとときは輝いて完全無欠に思われました。無限の光が架け橋となり私の祈りを届けてくれるような気がして詠ませて頂きました短歌です。ありがとうございました。

短歌を始められたきっかけを教えてください。

短歌との出会いは友達に誘われたのがきっかけです。少人数の勉強会のようなところでさまざまな日常生活の断片を切り取り言葉にする楽しさをおぼえました。現在は豊橋文化短歌会で勉強させて頂く日々です。三十一文字の文学といわれる短歌の奥深い世界に触れることが出来たらと願っています。

＊

入選作品集を配布します。

今回のお月見会の入選作品集を三の丸会館、豊橋市民文化会館、穂の国とよはし芸術劇場で無料配布しています。

●秀逸作品紹介

【川柳の部】

血洗い済ませ月見の輪に入る
尾方静子

名月が再起の道を照らし出す
芳賀健一

雲の間を待っていたよと月冴える
松岡洋子

＊

【俳句の部】

今日の月朧にわびたきことのあり
渡辺加美江

満月の空蹴り上げて逆上がり
竹尾眞弓

良夜かな時刻表無き渡し舟
大竹宏一

＊

【短歌の部】

月かげを編み込み白を際立たす一夜灯せり
久野敦子

鳥烏の花
鈴木愛子

月光の参道長き塾帰り影踏み声にそる
寺部幸子

ばん踊る
＊

【学生部 優秀作品】

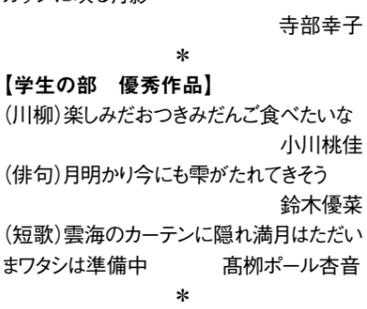
(川柳) 楽しみだおつきみだんご食べたいな
小川桃佳

(俳句) 月明かり今にも雫がたれてきそう
鈴木優菜

(短歌) 雲海のカーテンに隠れ満月はただいまワタンは準備中
高柳ポール杏音

＊

▲表彰式の様子



▲表彰式の様子

今号の一枚



森川 涉

「ジングルベル Wonderful Days」
日本画、F4号

儂い夢のような様相を絵いています。1975年愛知県豊川市生まれ。1999年名古屋芸術大学日本画コース卒業

エゴン・シーレと老舗料理店

今年の桜が満開の頃の話… “夭折の天才、その才能を目撃せよ!” というキャッチフレーズに吸い寄せられるように入場したのは、東京都美術館で開かれていたレオポルド美術館所蔵「エゴン・シーレ展」。19世紀末ウィーンを代表する画家エゴン・シーレ(1890—1918)は、28年という短い生涯にもかかわらず、独自の表現を探究して数多くの作品を遺した。



東京都美術館入口

美術館の創設者ルドルフ・レオポルドは、1950年代から表現主義のさがけともいべきシーレに早くから着目して熱心に作品を蒐集、さらにセセッション(分離派)設立の立役者グスタフ・クリムトの代表作をはじめ、ウィーン工房の多彩な工芸品などを積極的にあつめた。本展会場にはシーレの初期から晩年に至る絵画や素描のほか、ウィーン世紀末の芸術家たちの作品群がズラリと並んでいた。30年ぶりにシーレ作品50点が集結したという見応えのある内容で、特に自画像を含む人物画には、時を超えて放たれる鮮烈なオーラがあり、現代の若者にもファンが多いことも頷ける魅力に溢れていた。



鳳凰軒の店構え

午後5時に東京都美術館を退出して電車を乗り継ぎ、〈浅草橋〉で下車。橋を渡りながら何艘かの屋台船が川面に係留されているのを目撃…今宵の宿は、神田川が隅田川に合流する辺りだ。

夕食は、通人が購読する月刊誌で《支那そば》が取り上げられ、話題となった馬喰町にある昭和10年創業の老舗北京料理店『鳳凰軒(おとりけん)』…戦前からの長い歴史を刻んだ風格ある店構えで、店内のデザインは英国と香港の文化が混在するレトロモダン。ほかの料理も味わいたいの「噂の中華そば」は《小支那そば》に…《中華丼》や《天津丼》も気になるころだが、まずは基本の《チャーハン》を試すことに決め、店を切り盛りする老婦人に伝えた。奥の厨房で立ち働く息子の後姿を眺めながらしばらく待っていると、注文した料理が運ばれてきた。澄んだスープを纏った自家製麺の歯応えが心地よい。創業以来、変わらないレシビの《支那そば》は、あっさりだが飽きない味で、小海老の乗った《チャーハン》との相性もよく、添えられたザーサイも箸休めにピッタリだ。メニューを眺めているうちに、遠い昔に祖父に連れられて初めて訪れた町中華の『天華』を思い出した。次回は《肉団子》に《小支那そば》や《杏仁豆腐》などがセットになったお得な“Bランチ”を頼んでみようかと心に決め、店を出た。

さてシーレは、自らの詩『芸術家』(1910年)の中で“至高の感性は宗教と芸術である。自然は目的である。しかし、そこには神が存在し、そして僕は強く、とても強く、もともと強く感じる。”と記している。私は“至高の感性は芸術と食(料理)である。”と固く信じている…そしてアートも料理もホンモノは、時代を超えても決して色褪せない。



《小支那そば》&《チャーハン》

新春文化団体交流会のご案内

毎年恒例の新春文化団体交流会を開催します。文化の各分野での指導的立場にある先生方と新年の抱負を語り合い、相互の交流を深めるため、ぜひ各団体毎にお仲間をお誘いして、ご出席くださいますようお願いいたします。

- と き / 令和6年1月26日(金) 午後4時～
- と ころ / ホテルアークリッシュ豊橋 ガーデンサイト5階
- ▼会費 / 8,000円(1名分) ▼お申込み / 各団体様宛に案内状を送付いたします。出欠をご記入の上、ご返送ください。 ▼問合せ / 豊橋文化振興財団(Tel.0532-39-5211)



▲昨年の交流会の様子

第53回コーラスのつどいを開催しました。

11月8日(水)、豊橋市民文化会館にて「コーラスのつどい」を開催しました。11団体、約200名の方々が日頃の練習の成果を発表しました。新型コロナウイルスの流行以降、中止が続く、昨年は開催したものの参加団体が少なく、今年は全体合唱などを省略したものの参加団体も増えて従来の形で開催することができました。コロナ禍においてコーラスは、日々の活動も含めて最も制約を受け、この間に活動停止を余儀なくされた団体もあるようです。

来年度はライブポートとよはしコンサートホールにて開催予定です。コーラスの楽しさをより多くの方々と分かち合えるよう、多くの参加団体の皆様をお待ちしております。



▲コーラスでんとうむし



▲コーラス若草

第41回 財団加盟 美術団体 選抜展

豊橋文化振興財団加盟美術団体13団体による 合同作品展です。

2024年1月23日[火] — 28日[日]

午前9時～午後5時(最終日は午後4時まで)

豊橋市民文化会館 2F 展示室

出展団体【順不同】

中日写真協会豊橋支部、一穂会、澄心会書道、瑤玉印社、邦友会、香風書院、豊橋楽書会、三河書芸会、洗心書道会、書社がらひ、日本習字、自然の会、華友会

